

会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回川越市交通政策審議会
開催日時	令和7年11月17日（月） 午前10時00分 開会 ・ 午前12時00分 閉会
開催場所	ウェスタ川越2階 会議室1
出席者	別添委員名簿のとおり（会長含め18名）
欠席者	日本大学 大沢委員 川越市自治会連合会 佐藤委員 川越市交通安全母の会 山口委員
傍聴者	3名
事務局職員	都市計画部 吉田部長 交通政策課 中村課長、田畑副課長、河合副主幹、神谷主査、 加藤主任、藤井主事
会議次第	別紙のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度第2回川越市交通政策審議会次第 ・ 委員名簿兼出席者名簿 ・ 席次表 ・ 【資料1-1】 デマンド型交通「かわまる」乗降場設置基準の策定について ・ 【資料1-2】 デマンド型交通「かわまる」の見直しについて（中間答申）（案） ・ 【資料1-3】 デマンド型交通「かわまる」の見直しについて ・ 【資料1-4】 デマンド型交通「かわまる」インターネット予約の運用について ・ 【資料2-1】 川越市総合交通計画の策定について ・ 【資料2-2】 川越市総合交通計画の方向性について ・ 【資料2-2参考資料】 現況分析 ・ 【資料2-3】 川越市の公共交通等に関するアンケート調査調査票（案）
会議要旨	<p>【審議結果】</p> <p>審議事項「デマンド型交通「かわまる」の見直しについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間答申書（案）について、原案のとおり決定した。また、今後の見直しの方向性について、事務局案のとおり進めることに決定した。

	・インターネット予約の運用について、予約受付時間を変更する方向で進めることに決定した。
議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 事務局から、委員の過半数が出席しており定足数に達しているため、審議会を開催するとのあいさつがあった。
事務局	2 委嘱書の交付等 今回の審議会から新委員となる、福田委員、網島委員の紹介を行った。
	3 議事 【審議事項】(1)会長・副会長の選任について
事務局	仮議長の選任
仮議長	互選の方法について、意見はあるか。
委員	以前は指名推薦で決めていたと思いますので、今回も同じ方法で良いのではないか。
仮議長	他に意見はあるか。
一同	異議なし。
仮議長	会長・副会長の選出は、指名推薦によることに決定した。 会長を推薦される方はいるか。
委員	審議会の発足から、ここまで会長を務められ、経験豊富な久保田委員に引き続きお願いすることでしょうか。
仮議長	他に意見はあるか。
一同	異議なし。
仮議長	審議会の会長は、引き続き久保田委員に決定した。以上で、仮議長の役を解かせていただく。

事務局	久保田委員が会長となりましたので、座席を移動していただき、改めて、就任の御挨拶をお願いしたい。
会長	会長からあいさつ
事務局	副会長を推薦される方はいるか。
委員	前期より副会長を務められ、長らく市民団体として交通問題に取り組んでこられている、交通安全母の会の山口委員に引き続き委員をお願いすることかどうか。
事務局	他に意見はあるか。
一同	異議なし。
事務局	それでは、副会長に山口委員に御就任いただくことに決定した。
議長（会長）	<p>〈審議会の傍聴について〉</p> <p>審議会の傍聴についてお諮りしたい。審議会については、原則として公開することになっている。現在、3名の傍聴希望者がいるが、傍聴希望者の入室を認めることでよろしいか。</p>
一同	異議なし。
	〈傍聴希望者入室〉
	【審議事項】(2)デマンド型交通「かわまる」の見直しについて
事務局	〈事務局より資料1-1、1-2及び1-3のP.20まで説明〉
議長（会長）	何か意見、質問等あるか。
一同	質問、意見等なし。
議長（会長）	資料1-2の中間答申案についてお諮りしたい。この中間答申案についてご承認いただくということではよろしいか。
一同	異議なし。
議長（会長）	それではご承認いただいた。

	<p>続いて、今後の見直しの方向性について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>〈事務局より資料1－3のP.21以降を説明〉</p>
議長（会長）	<p>何か意見、質問等あるか。</p>
委員	<p>自宅から通院する場合、往復で7,000円、月3万円はかかる。最寄りのかわまる乗降場は450m程歩いた所にあるが、片道300円で行けることが運転を止める決心につながった。自動車の運転が止められない理由はやはり通院である。高齢者になると埼玉医大や総合病院等に毎月通院しなければならないために、運転を止められない方が多くいる。</p> <p>昨年からかわまるを利用しており、昨年は割と予約が取れたイメージだったが、最近では1日40件予約が入っていると乗務員から聞いた。目的地の方向が異なれば予約が取れず、乗務員からも予約が取れていないという話を聞く。このため、予約を取るために夜中の1時58分に目覚ましをかけ、2時に予約を取るようにしている。それでも希望する時間に予約が取れない。</p> <p>かわまるは到着時間がきちんと決まっているためとても良い。ただ、利用者が急激に増えている。問題は車両台数が1台であるということ。また、11時から30分、15時から30分は予約が取れないので困る。一番利用したい時間に利用できない。加えて、乗務員の立場で言えば、11時までの予約と11時30分からの予約場所が離れている場合、休憩を取ることができないという声も聞いている。以前のように予約が入っていない時間があれば、そこを休憩時間にできたが、現在は終日稼働しているため休憩できていない。</p> <p>一番の問題は車両台数が1台ということ。1年後2年後ではなく、早急に台数を増やしてほしい。</p> <p>また予約成立率で言えば、インターネット予約で検索しただけでは集計に入らないはずであり、成立率はもっと低いと感じる。</p> <p>1週間前の予約開始のため、当日はキャンセルやドタキャンなどで予約が取れる場合もあると乗務員から聞いた。</p> <p>急激に利用者が増えていることから、早急に車両台数を増やすことを検討いただきたい。</p>
議長（会長）	<p>先ほど、インターネット予約で検索しただけでは予約成立率に入らないのではないかと意見があったが、P.22の予約成立率の定義について説明をお願いしたい。</p>

事務局	<p>インターネット予約画面において必要項目を入力し、検索ボタンを押下した場合、予約件数にカウントがされる。検索後、予約が取れば確定1件、予約が取れなければ不確定1件となる。</p> <p>資料 P.22 のR 6年度実績で言えば、検索件数が約3万件あり、そのうち確定件数が18,560件、確定に至らなかった件数が12,712件である。このため、インターネット予約画面で必要項目を入力しても、検索ボタンを押下しなければカウントはされない。</p>
議長（会長）	<p>予約成立率は電話とインターネットの合算か。</p>
事務局	<p>そのとおりである。電話予約であっても、オペレーターにて検索をかければ当然カウントがされる。</p>
委員	<p>かわまるのアンケートにおける主な利用目的について、通院利用が多いのは想定内だったが、趣味・習い事が8%だったことに驚いた。利用者の8割以上が70歳以上と資料にあったが、閉じこもりになり外出をしないと高齢者自身の社会参加の機会が減ってしまうのではないか。そのような話は、今後の川越市の社会課題に合致していると思われるため、是非、社会参加に繋がるようなデマンド型交通として、今後も使っていただきたい。</p> <p>予約が取れないことについては、ここ数年利用者が増えていることはプラスに捉えて良いと思う。これまでは、予約方法や使い方が解らないといった方々に広報をしなければならなかったが、利用者が増えたことは良いことだと思うため、それであれば、車両台数を増やすといった方法を考えていくのだと思うが、一方で公共交通なので赤字を垂れ流す必要はないと思う。</p> <p>70歳以上の方は免許返納をされてかわまるを利用していると思うが、免許返納以前は車の税金やタイヤ代等、様々な費用を負担して生活していたところ、今はかわまるを使っているかと思う。そうであれば、もちろん車両台数を増やし利便性を良くするが、利用者負担も考えていくことも必要だと思う。例えば、現在キャンセル料が無いため、キャンセル料も含めて、利便性は良くするが利用者負担も一緒に見直していった方が市民にとっては良いと思う。</p>
事務局	<p>今後の進め方の議論をしていく中で、そういった議論も含めて検討していきたい。</p>
委員	<p>昨年度の審議会資料で記載があったが、川越市の公共交通にかける予算はすごく低い。</p>

	<p>80歳を過ぎると300円でも大変。往復で600円。通院利用となると週1回利用で月2,400円になる。そこも考慮していただきたい。</p>
議長（会長）	他に意見、質問等あるか。
一同	無し。
議長（会長）	<p>それでは、今後の進め方についてはP.37のとおり進め、スケジュールとしては令和9年4月以降に新たな運行体制で運行開始できるよう進めていくこととしてご承認いただけるか。</p>
一同	異議なし。
議長（会長）	<p>それではご承認いただいたため、事務局案のとおり進めさせていただきます。</p> <p>続いて、資料1－4について事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	〈事務局より資料1－4を説明〉
議長（会長）	インターネット予約の受付開始時間が何故2時からなのか、まず説明をお願いしたい。
事務局	<p>デマンドシステムのメンテナンス時間が午前2時までのため、午前2時からの受付開始となっている。しかしながら、必ずしも午前2時に予約を取っていただきたいわけではなく、現在予約が取れない状況となっていることから、メンテナンスが終わった時間に起きてでも予約を取る方が増えている状況である。</p>
議長（会長）	<p>実態として午前2時に起きて予約をする方が多く、結果的に利用者に身体的な負担を負わせているような状況となっている。</p>
委員	<p>午前1時58分に目覚ましをかけて予約を取っているが、案外またすぐ寝れる。午前6時台に起きると暖房代が高い。遅くしたから良いというものではない。また、高齢者でインターネットを使えるという方は少ない為、息子さんや娘さんが予約を取ってくれている。</p> <p>私も電話では予約が取れない為インターネット予約をするようになったが、午前6時に予約開始となると、一斉に予約を取ることとなり時間がかかるのでは。午前2時では困る人、午前6時では困る人、それぞれいる。要するに車両台数が足りないから予</p>

委員	<p>約が取れていないため、予約開始時間を変更することは根本的な解決にはならない。車両台数を増やすことが根本的な解決策だと思う。</p> <p>他市の交通会議に出席する中で参考となる意見があったため共有させていただきたい。</p> <p>最初に先着順で予約が入ってしまうと、それに合わせて次の人たちはその運行ルートに乗れないと予約ができない形になる。</p> <p>このため、まず1週間前の予約は確定ではなく、仮予約といった申請を受け付けた状態とし、3日前などに予約を確定する。そのようにすれば乗り合いも増え、良くなるのではないかといった意見があった。ただ、川越市の場合、電話予約も同時に受付を行っているため、先ほどの事例のような取り組みができるかはわからないが、参考までに共有させていただいた。</p>
委員	<p>インターネット予約のため、好きな時間に予約が取れるということは、様々な場面で利便性が良いとは思いますが、かわまるの予約を取るために高齢者の方々が夜中に起きることや、家族の方々が夜中に起きて予約を取るということは、資料に記載があるとおおり、身体的な負担が大きいと思う。ただ、高齢者の方は早く起きると思うため、予約受付時間が6時で良いのかは解らない。また、6時に変更すればその時間に予約が集中すると予測されるが、かわまるの予約をするために2時に起きているという状況は改善すべきだと思う。</p>
委員	<p>予約受付時間を午前2時から午前6時に変更した場合、システム的な支障はあるか。</p>
事務局	<p>システム管理会社に確認したところ、予約受付時間変更に伴うシステム的な支障はほぼ無いと伺っている。ただ、検索数の集中により、一時的に検索結果の表示が遅くなることはあるかもしれない。</p>
委員	<p>様々ご意見はあるかと思うが、午前2時というのは本来人間が寝ている時間のため、時間はずらした方が良いと思う。また、開始時間を午前5時にするか午前6時にするかは検討すれば良いと思うが、システム的には数百件増えた程度で負荷がかかるようなシステムは使わない方が良い。何も問題はないと思う。是非時間をずらしていただきたい。</p>
議長（会長）	<p>皆様からいただいた意見を参考に、予約受付時間を変更すると</p>

一同	<p>いう方向で進めてよろしいか。</p> <p>異議なし。</p>
事務局	<p>【報告事項】(3)川越市総合交通計画の策定について 〈事務局より、資料2-1、2-2、2-2参考資料、2-3を説明〉</p>
議長(会長)	<p>何か意見、質問等あるか。</p>
委員	<p>かわまるについて。先ほどから出ている通り、おそらく、1台の処理能力がすでに超えているのではないかと。データや委員の意見からわかる。計画におけるアンケートの目的となっているところでは、かわまるだけでは、カバーしきれなくなりそうという意図が読み取れる。アンケートの結果から、かわまるだけでなく、既存の路線バス、川越シャトルのあり方も含めて、川越の全体の公共交通を考えていく必要がある。</p> <p>かわまるについて、喫緊の課題をどうするのかという問題もある中で、市の財政問題と、利用者の利便性向上に対する期待を考えると、設備投資を少なく、利便性の向上をしていくことが理にかなっているのではないかと。ワゴンタイプの運行は、乗合を前提として運用しているはずだが、1人利用も多いのではないかと。今後ワゴンタイプではなく、タクシー事業者の持っているタクシー車両等を利用しての増車を視野に入れながら、現在の利用率をカバーできるようなことを考え、ゆくゆくは全体を見直ししながら、公共交通として設計していくのが良いのではないかと。</p>
事務局	<p>計画策定については、交通事業者の御協力なくしてはできないと考えている。しっかりと、交通事業者の御意見をお伺いしながら、今後のあるべき川越の公共交通について検討していく。</p> <p>かわまるの既存タクシーの利用については、庁内で検討していく。また、現在の課題としての予約の取りづらさをどうしていくのかも含めながら、しっかりと検討していく。</p>
議長(会長)	<p>他に何か意見、質問等あるか。</p>
委員	<p>アンケートについて、18歳以上の市内3000人、12地区毎250人とあるが、その中に、川越シャトルやかわまるの利用者が入っていない場合はどうするのか。この12地区の他に、実際に使われている方へのアンケート等、別の形の意見聴収はできないか。</p>

事務局	<p>計画策定のためのアンケートは、公共交通、川越シャトル、かわまるを利用しているかどうかを含めたアンケートとなっている。川越シャトル、かわまるについては、別に利用者アンケートを実施している。既存の利用者アンケートを含めながら、現況分析を行い、利用者の意見を含めながら、計画に反映していきたい。</p>
議長（会長）	<p>他に何か意見、質問等あるか。</p>
委員	<p>運行事業者として気づいた点について。アンケートの内容について、運行本数・運行時間に対する満足・不満足はわかりやすいが、鉄道・バスで、車両の乗車環境や駅員・乗務員の対応など、川越シャトルになると、車両の乗り心地等、感覚的な質問は答えづらいし、お客様によって非常に異なる。また、結果が出てきたことに対して、事業者がどこまで対応するか等、アンケートを取る意図が見えにくい設問がある。</p> <p>最後のページの自由意見について、各自治体が地域公共交通を決めていく中で、住民の意見を集約していくのは非常に有用なことだと思っ一方で、公共交通を取り巻く前段の状況を説明してからでない、突拍子もない意見ばかりが集まってしまうかもしれない。公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況であること、例えば経費の増大（修繕費・人件費等）や、担い手不足等をお伝えしたうえで、意見聴収をしてもらえると非常にありがたい。</p>
事務局	<p>アンケートの内容について、他市の実施状況等を踏まえながら作成したが、確かに回答のしづらさ等もある為、いただいた意見をもとに、内容をしっかりと精査する。</p> <p>また、前段となる公共交通を取り巻く状況等の説明をすることによって、より意味のあるアンケートとなることから、送付文等に現況の分かる説明を記載したい。</p>
議長（会長）	<p>他に何か意見、質問等あるか。</p>
委員	<p>アンケートの免許返納関連の設問について、なぜ免許返納についてのみしか聞かないのか。80歳過ぎたら自転車も乗れなくなる。歩きの移動も難しくなってくる。免許返納者のみへの施策展開は疑問が残る。みんなが使いやすい交通を作ったほうがいいのではないか。車のみではなく、自転車、歩行者も考えて、もし高齢者への交通補助金等があるなら、年齢のみで区切るほうが良いのではないか。</p> <p>運転手の態度について、タクシー会社によって、運転手の態度</p>

事務局	<p>も違うので、会社にも運転手にも酷だと思う。</p> <p>アンケートの免許返納関連の設問について、車から公共交通へ乗り換えてもらう等、あくまで公共交通の利用促進策の例示としてあげたもの。そのため、交通補助金等を実際に行うかどうかはまだわからない。</p> <p>また、運転手の設問について、先ほどの交通事業者様の意見も取り入れて、再検討していく。</p>
議長（会長）	他に何か意見、質問等あるか。
議長（会長）	<p>総合交通計画の対象範囲のところ、公共交通だけでなく、その他の自動車、バイク、自転車、歩行者も計画に入ってくる。全国の様々な総合交通計画を見ると、一番に歩行者が来ることが多い。「車中心から人中心」や「ウォーカブル」といった用語が使用され、まず歩行者をどうするかが議論される傾向・時代になってきている。今日のアンケートに、歩行者関連がすごく少ないという印象。自動車については、他に議論されている道路網計画等でも扱っているが、自転車と歩行者、特に歩行者については、しっかり考えていくようお願いしたい。</p>
議長（会長）	他に何か意見、質問等あるか。
一同	特になし
議長（会長）	<p>4 その他</p> <p>何か意見、質問等あるか。</p>
一同	特になし。
議長（会長）	事務局から何かあるか。
事務局	<p>事務局から、2点ご報告をさせていただく。</p> <p>まず、11月の連休期間中に実施した一番街における歩行者天国の試行的実施について、関係者の皆様にこの場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。</p> <p>11月1日から11月3日までの3日間、午前11時から午後5時まで一番街を歩行者用道路としたが、天候に恵まれ、多くの観光客がお越しになる中、迂回路となる県道川越上尾線等で一部渋滞等が確認できたが、地域や関係者の皆様の多大なる御協力のもと、大きなトラブルはなく、実施することができた。</p>

	<p>現在、地域にお住いの皆様や一番街沿道の店舗・事務所・駐車場関係者の皆様、観光客へのアンケート調査結果及びビッグデータによる一番街周辺道路の前年度交通量の比較等について取りまとめを行っており、当該結果と5月の実施結果を合わせ、地元自治会や関係者の皆様と今後の交通対策について検討していく。</p> <p>2点目は、次回の審議会の開催予定について。 次回は、年明けの令和8年2月5日（木）の午前での開催を予定している。詳細が決定次第、速やかに委員の皆様ご連絡したい。</p> <p>議長（会長） 次回は2月5日ということですので、よろしくお願ひしたい。また、事務局は詳細が決定次第、ご連絡をお願ひしたい。 その他、何か意見等あるか。</p> <p>一同 特になし。</p> <p>議長（会長） これにて全ての議事が終了した。委員の皆様に対し円滑な審議への協力に感謝したい。</p> <p>【閉会】</p> <p>以 上</p>
--	---